



Taka Ishii

Gallery

6-5-24 3F Roppongi Minato-ku Tokyo #106-0032, Japan

tel +81 (0)3 6434 7010

fax +81 (0)3 6434 7011

web [www.takaishiigallery.com](http://www.takaishiigallery.com)

email [tig@takaishiigallery.com](mailto:tig@takaishiigallery.com)

## ルイジ・ギッリ 「Works from the 1970s」

会期：2017年5月27日(土)－6月24日(土)

会場：タカ・イシイギャラリー 東京

オープニング・レセプション：5月27日(土) 18:00－20:00

タカ・イシイギャラリーは、5月27日(土)から6月24日(土)まで、ルイジ・ギッリの個展「Works from the 1970s」を開催いたします。ギッリは70年代初頭より、カラー写真を用いて形而上学的なイメージの考察を行い、49歳で夭逝するまでの20年弱の間に、数多くの優れた作品を残しました。タカ・イシイギャラリーで初めての個展となる本展では、類まれな空間感覚により獲得された色調が際立つギッリの作品世界において、重要な位置を占める70年代に撮影された作品を中心に展示いたします。

1950～60年代にかけて、経済成長と文化的転換の中で青年期を過ごし、芸術への造詣を深めたギッリは、当時最も盛んな芸術動向の一つであったコンセプチュアル・アートに通じ、単なる記録に留まらない写真イメージを求めたアーティストらとの共同作業から写真を始めました。職業的な写真スタジオへの所属や、アマチュアリズムに根を置く写真愛好とは異なる、ギッリの写真行為の端緒に関する実験的背景は、写真を通じて自身と外部世界との関係やそこに存在する複雑さ・不可解さに関心を寄せる姿勢を育み、既知と未知との狭間にいることを知る行為として、被写体に対する熟視という結果をもたらしました。

主題のみならず、その発想においても特異な多様性を誇るギッリの写真群は、「眼差し」を軸とする複雑に連関した一連の弁証法的探究であると言えます。ポスターや広告など公の場にあるイメージの分析から分類される「現実になるイメージ」と「イメージになる現実」、フレーミングによる世界の部分的抽出と消去が明らかにする現実の曖昧な境界、変化する風景の形態、あるいは人が見る際に生じる表象の投影によって、時には消え、また時にはたち現れる実体と想像といった、現実とイメージの関係性についての考察が、そこでは不断に、軽やかに、かつ密度をもって行なわれています。現実と見かけ（あるいは擬態）、実態と表象、在と不在、外界と内なる世界——こうした形而上の二元性をそれぞれ同じレベルで見つめ、その調和や多義性を探るギッリの写真は、写真が世界のあるがままの複製ではなく「見られた」世界の断片の集合であり、全ての写真が眼差しの証明であることを示しており、その中であってどのようにイメージを通して考えるかという無限の問いを私たちに投げかけてきます。

本展の開催に際し、展覧会カタログ『Luigi Ghirri』を刊行いたします。

### 【カタログ詳細】

ルイジ・ギッリ 『Luigi Ghirri』 タカ・イシイギャラリー刊 (2017年)

販売価格：未定

ソフト・カバー、62頁、掲載図版29点、青木淳によるテキストを収録（英語・日本語）

詳細はギャラリーにお問い合わせ下さい。

協力：Mai 36 Galerie (チューリッヒ)

ルイジ・ギッリは1943年イタリア、スカンディーノ生まれ（1992年没）。コンセプチュアル・アーティストたちとの共同制作をきっかけに写真を始める。ウジェーヌ・アジェ、ウォーカー・エバンスらの写真に影響を受け、1973年より本格的に写真制作に取り組む。初個展で批評家マッシモ・ムッシーニに見出され、以降国内外で作品を発表。1980年以降は主にイタリアの風景と建築、とりわけ生涯暮らしたレッジョ・エミリア周辺の風景をテーマに活動。建築家アルド・ロッシとの共同制作（1988年）や画家ジョルジョ・モランディのアトリエ撮影（1991年）などでも知られる。1977年には妻パオラ・ボルゴンゾーニ、ジョヴァンニ・キアラモンテらと出版社 Punto e Virgola を設立、同時代の写真家の作品集制作に尽力した他、自作・他作問わず優れた論考を残した。主な個展に「Vera fotografia」Palazzo della Pilotta（パルマ、1979年）、「Still Life. Topographie-Iconographie」Light Gallery（ニューヨーク、1980年）、「Pensare per immagini」Museo nazionale delle arti del XXI secolo 他巡回（2013年）など。主なグループ展に「Art as Photography – Photography as Art」Kassel（カッセル、1975年）、「Fotografie 1922-1982」Photokina Cologne（ケルン、1982年）など。主な作品の取蔵先に The Museum of Modern Art、Museum of Photography of Parma など。

是非、貴誌・貴社にて御紹介下さいますよう宜しくお願いいたします。

尚、掲載用写真の貸出など、御質問がございましたら下記までお問い合わせ下さい。

タカ・イシイギャラリー 展覧会担当：上松エリサ プレス担当：増山貴之・岡村万里絵

〒106-0032 東京都港区六本木 6-5-24 complex665 3F

tel: +81 (0) 3 6434 7010 fax: +81 (0) 3 6434 7011

e-mail: [tig@takaishiigallery.com](mailto:tig@takaishiigallery.com) website: [www.takaishiigallery.com](http://www.takaishiigallery.com)

営業時間：11:00-19:00 定休日：日・月・祝祭日



Luigi Ghirri  
 “Sassuolo” (Serie: Diaframma  
 11, 1/125 luce naturale), 1975  
 C-print  
 Image size: 15.5 x 19.2 cm  
 © Eredi di Luigi Ghirri



Luigi Ghirri  
 “Modena” (Serie:  
 Kodachrome), 1971  
 C-print  
 Image size: 17.9 x 12 cm  
 © Eredi di Luigi Ghirri



Luigi Ghirri  
 “Modena” (Serie: Kodachrome),  
 1972  
 C-print  
 Image size: 17.4 x 12.6 cm  
 © Eredi di Luigi Ghirri